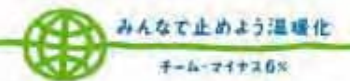


# 京都議定書6%削減目標の達成に向けて



ライフスタイルを見直し、  
1人1日で1kgを目指して  
CO<sub>2</sub>ダイエット

積み重ねて

1kg×1億2,800万人  
×365日  
=約4700万t/年

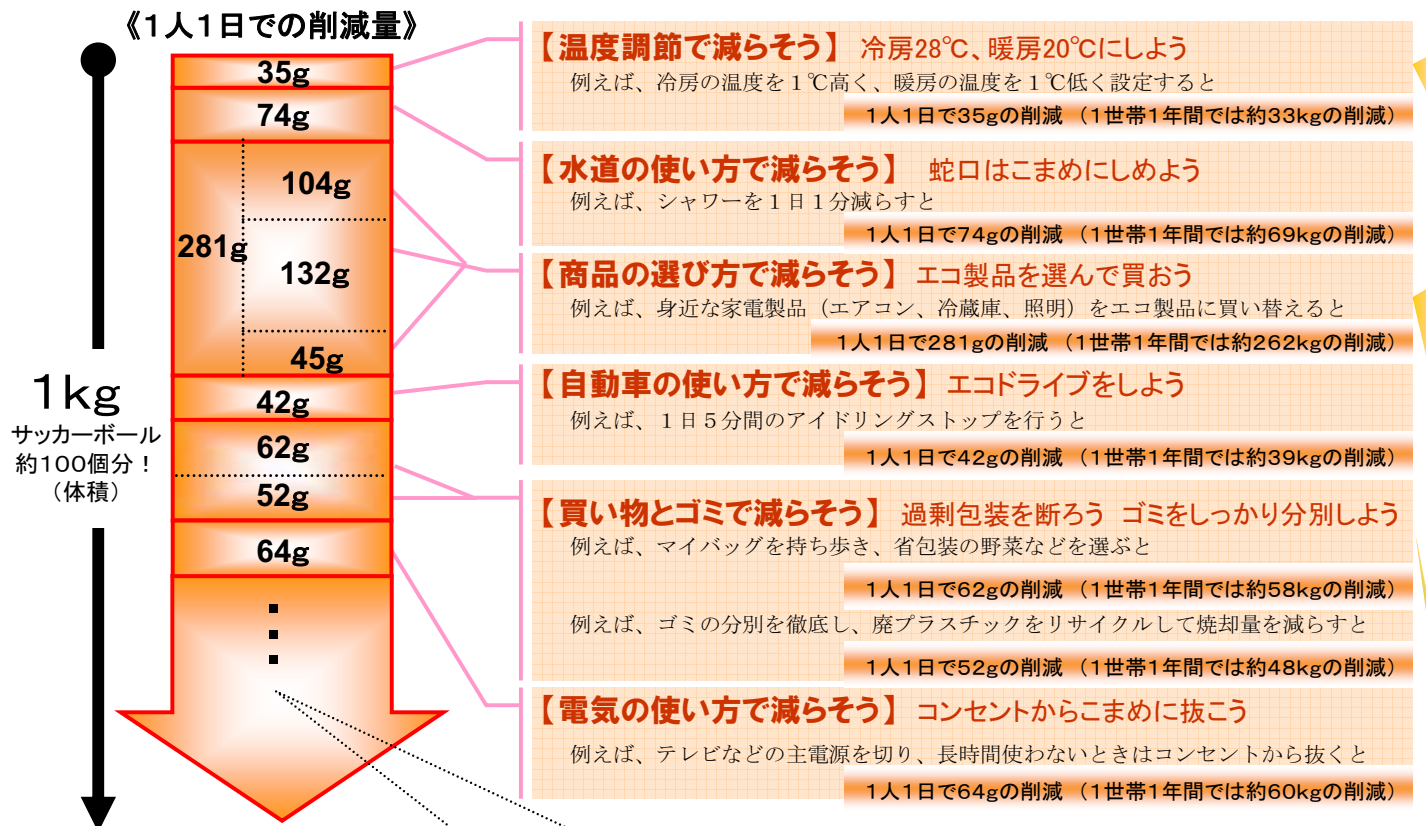
家庭部門の  
削減目標  
約3,800万t/年

家庭や職場、地域での具体的な温暖化防止のアイデアを  
公募し、効果が検証されれば、積極的に国民へ紹介。

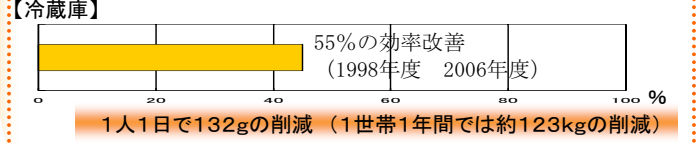
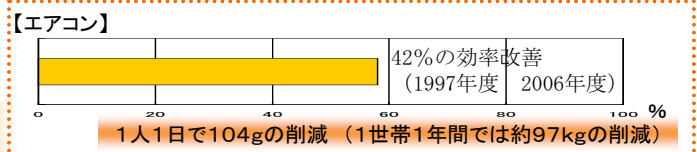


## CO<sub>2</sub>削減のために一人ひとりができること

我が国のCO<sub>2</sub>排出量は、家庭部門で37.4%の増(1990年比)[2005年度排出量:1億7500万トン]となっており、2010年までの削減目標量は、3,800万トン。これを実現するためには、一人ひとりが日常のライフスタイルを見直し、家庭や職場でできる温室効果ガス削減の取組の輪を広げていく必要があります。例えば、下記の取り組みを全て実践すると、年間で1世帯当たり約569kg(1人1日では610g)の削減が可能です。政府は国民運動の展開に全力をあげていきます。「チーム・マイナス6%」に国民の皆様の力を貸して下さい。



【オフィスで】 (1) エアコンの設定温度をクールビズ開始 (2005年度) 前より上げている割合 43.2%  
(2) CO<sub>2</sub>削減量の推計  
日本全体で約114万トンのCO<sub>2</sub>削減(6~9月)



【照明】  
最も買い替えやすいものとして、照明のうち、「白熱電球」を「電球形蛍光灯」に交換  
1人1日で45gの削減 (1世帯1年間では約42kgの削減)

消費電力最大で1/5

【日本国民全員が週に1枚レジ袋を断った場合】  
日本全体で約36万トン/年のCO<sub>2</sub>削減

公募したアイデアなどにより更に削減を目指します

<CO<sub>2</sub>削減量> 「身近な地球温暖化対策～家庭でできる10の取り組み～」(環境省)他より

※ 温室効果ガス削減のための国民運動の展開は、上記のような家庭部門での取組だけでなく、業務部門(オフィスビル等)でもしっかりと進めていく必要があります。